

1 主題 SNSでの発言について考えよう 4－(1) 権利・義務

2 ねらいと資料

(1) ねらい

SNSにおける発言とその発言が社会に与える影響を考えることで、SNSでの発言について、人権を配慮することが必要であることに気付くことができるようにする。

(2) 資料

SNSでの問題発言が印刷されたプリント

3 本時の指導

(1) 準備 資料、ワークシート、意見交流シート、付箋紙（桃色・青色）

(2) 関連 「ぼくの夏休み」4－(1) 権利・義務（明るい心）

(3) 情報活用能力の育成について

付箋紙を使い、対話的な学びとしての意見交流を行うことによって、新たな意見を自分の考えに取り入れ、自分の考えを深めることができるようにする。

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
5分	1 資料を読み、本時のめあてを知る。	○ ニュースで聞いたことのある事例を基に考えさせることで、身近な問題として本時の課題をとらえさせる。
5分	2 「何でも発言してOK」「発言を法律で制限しなくちゃだめ」のどちらかの立場を選び、ワークシートに理由を記述する。	○ 資料や自分の経験を根拠にして立場や理由を記述するようにさせることで、自分の考えをもって、意見交流が行えるようにさせる。
15分	3 グループで、意見交流シートと付箋紙を使った意見交流を行う。	○ 意見交流シートに自分の考えを書いた付箋紙を貼らせ、相手はその考えに対する意見を色の異なる付箋紙に書かせて貼る。そしてその付箋紙同士を線で結ばせることで、考えのつながりを視覚化させる。
8分	4 意見交流後の自分の立場とその立場を選んだ理由をワークシートに記述する。	○ よい意見は、どの立場のものでも自分の意見に取り入れるように伝えることで、広い視野で意見を見直すことができるようにさせる。
<p>評価事項</p> <p>友達と意見交流する中で、相手の意見を取り入れ、自分の考えを深めることができたか。</p> <p style="text-align: right;">【ワークシートへの記述】</p> <p>□… 自分が得た考えを、周囲にも啓蒙できる方法はないか考えさせる。</p> <p>☆… 友達から貼られた付箋紙の意見を振り返り、教師の助言を得ながら、自分の考えに取り入れられそうな意見を選択するようにさせる。</p>		
10分	5 教室全体で意見を共有する。	○ 双方の立場から意見を発表させることで、どの立場の意見にもよい点と悪い点があることに気付かせる。
2分	6 活動を振り返る。	○ 表現の自由と人権とのバランスを上手に取ることが大切であることを伝える。

※斜体・・・情報活用能力を育成する学習活動